パリ, フランス

オランジュリー美術館: 名作

モネの《睡蓮》とヴァルテール＝ギヨーム・コレクションを収めるパリの美術館から、印象派から両大戦間期に至る二十点を紹介します。

AI翻訳を使用



オランジュリー美術館は、パリのテュイルリー庭園にあります。最もよく知られる展示室はモネの《睡蓮》のために設計され、巨大なパネルが、ジヴェルニーの池の眺めで訪れる人を包み込みます。また、ルノワール、セザンヌ、マティス、モディリアーニらの絵画からなるヴァルテール＝ギヨーム・コレクションも所蔵しています。

ここでは《睡蓮》のパネルを三点取り上げます。それ以外はほぼすべて、はるかに小さな作品で、その多くが肖像画です。モデルの名前には、ギヨームが二度登場します。モディリアーニは若い画商ポール・ギヨームを描き、ドランはつばの広い帽子をかぶったギヨーム夫人を描きました。もう一つ、繰り返し現れるのが、さまざまな形をとるデフォルメです。モディリアーニは首を長く伸ばし、滑らかな曲線で描きます。スーティンは顔を荒々しく描き、ある風景画では眺め全体を傾け、均衡を崩します。アンリ・ルソーはもっと静かに目に見える姿から離れ、椅子工場も海岸も子どもも、同じように入念でかしこまった描き方で表しています。ルノワールは三点登場し、裸婦、ピアノに向かう姉妹、道化の衣装を着た子どもが描かれています。そのほかは、シスレーとユトリロの風景画、マティスのオダリスク、マリー・ローランサンの《シカ》です。

これらの作品は、美術館とは独立して、記録で確認できる同館の所蔵品から選びました。所蔵作品が必ずしも展示されているとは限らず、いずれの作品も貸出中、あるいは展示を休止している可能性があります。年代と作者の帰属については、リンク先の記録にある留保をそのまま残しています。

アートラインでこのセレクションをご覧ください

選定された作品を、同時代の書籍や出来事と並べてご覧いただけるほか、アーティストの生きた時代を比較することも可能です。ここで紹介する書籍や出来事は、あくまで背景情報を示すものであり、直接的な影響の証拠ではありません。制作年代が特定されていない作品も、本ガイドに含まれています。

文脈の中の芸術作品　誰がいつ生きたのか?

artlines.org/guides/musee-orangerie

作品一覧・20

1. Woman with a Velvet Ribbon
   Amedeo Modigliani · 1915
2. Cliffs
   Henri Rousseau · 1897年頃
3. Paul Guillaume
   Amedeo Modigliani · 1915
4. Portrait of Émile Lejeune
   Chaim Soutine · 1925
5. The Chair Factory at Alfortville
   Henri Rousseau · 1897
6. The Girl with a Doll
   Henri Rousseau · 1904～1905年頃
7. Butte Pinson
   Maurice Utrillo · 1905–1908
8. Odalisque in Red Trousers
   Henri Matisse · 1924–1925
9. Madame Guillaume in a Wide-Brimmed Hat
   André Derain · 1928–1929
10. Water Lilies: Sunset
    Claude Monet · 1914–1926
11. The Road from Montbuisson to Louveciennes
    Alfred Sisley · 1875
12. Water Lilies: Clear Morning with Willows
    Claude Monet · 1914–1926
13. Water Lilies: Green Reflections
    Claude Monet · 1914–1926
14. Altar Boy
    Chaim Soutine · 1927 - 1928
15. Antonia
    Amedeo Modigliani · 日付未確認：1915年
16. Deer
    Marie Laurencin · 1923
17. Landscape with Figures
    Chaim Soutine · 1918 - 1919
18. Yvonne and Christine Lerolle at the Piano
    Pierre-Auguste Renoir · 1897年頃
19. Claude Renoir as a Clown
    Pierre-Auguste Renoir · 1909
20. Nude Woman in a Landscape
    Pierre-Auguste Renoir · 1883

01 / 20

Woman with a Velvet Ribbon

Amedeo Modigliani

1915 · キャンバスに油彩 · Musée de l’Orangerie



A woman with velvet ribbon. WikiArt; Amedeo Modigliani. Proportional resizing and JPEG compression; source frame preserved. · Public domain

題名でこの女性を特定する手がかりはリボンだけですが、そのリボンには注目する価値があります。黒いベルベットが首を横切るところでは、それがほとんど測定の目印のように働き、モディリアーニが首をどれほど引き伸ばしたかを示しています。顔も通常の人体の構造には忠実ではありません。それでもまとまりがあるのは、首、頭、肩が、寸法の正確さよりも互いに呼応することを重視した、長い曲線で描かれているからです。

作品情報の出典 · 作品を開く

02 / 20

Cliffs

Henri Rousseau

1897年頃 · キャンバスに油彩 · Musée de l’Orangerie



Henri Rousseau. Cliffs. WikiArt source label: Public domain. Proportional resize and JPEG compression; no crop. Source: https://www.wikiart.org/en/henri-rousseau/cliffs · Public domain (WikiArt source label)

ごく少ない要素からできた海岸です。縦の筋が刻まれた崖の面、水平に長く伸びる海と岸の帯、そしてその構成に収まる小舟。崖の垂直線と水平の帯との対比がほとんどすべてを担い、この絵には今ある以上の細部がほぼ必要ありません。制作年はおおよそのものです。それが正しければ、《崖》は、同じくくっきりした輪郭に支えられた《アルフォールヴィルの椅子工場》とほぼ同じ時期に描かれたことになります。

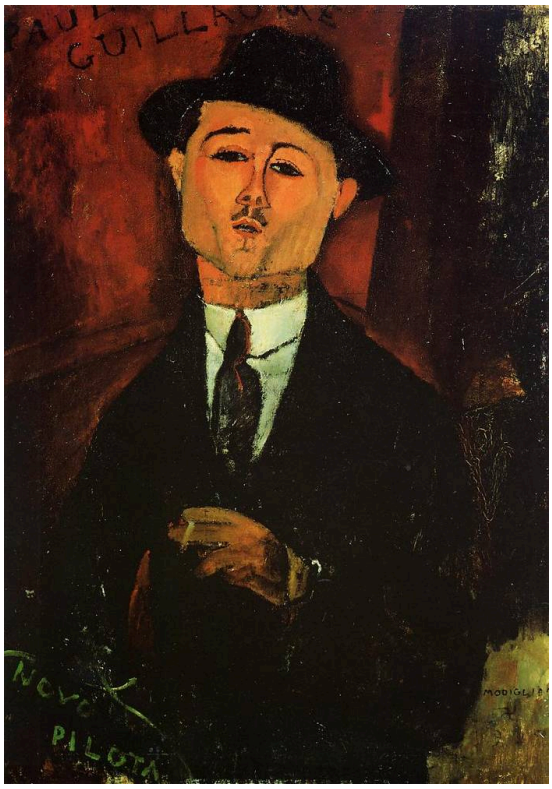
作品情報の出典 · 作品を開く

03 / 20

Paul Guillaume

Amedeo Modigliani

1915 · 厚紙に油彩 · Musée de l'Orangerie



Amedeo Modigliani. Paul Guillaume. WikiArt source label: Public domain. Proportional resize and JPEG compression; no crop. Source: https://www.wikiart.org/en/amedeo-modigliani/paul-guillaume-1915 · Public domain (WikiArt source label)

この肖像画は《ベルベットのリボンをつけた女性》と同じ年に描かれていますが、その方向はほとんど逆です。モディリアーニは人物を長い曲線へと引き伸ばす代わりに、ギヨームをコンパクトなシルエットにまとめています。赤い背景に暗いスーツと帽子が浮かび、胸元にぽつんと置かれた片手だけが身振りを示します。画商の肖像としては、驚くほどわずかなものしか見せていません。凝った室内も、所有物の陳列もありません。彼に威厳があるとすれば、それはポーズと、強い対比から生まれています。

作品情報の出典 · 作品を開く

04 / 20

Portrait of Émile Lejeune

Chaim Soutine

1925 · キャンバスに油彩 · Musée de l’Orangerie



Chaim Soutine. Portrait of Emile Lejeune. WikiArt source label: Public domain. Proportional resize and JPEG compression; no crop. Source: https://www.wikiart.org/en/chaim-soutine/portrait-of-emile-lejeune-1925 · Public domain (WikiArt source label)

スーティンはエミール・ルジュヌの顔を不揃いな角度の組み合わせで形づくり、それを背景にも引き継いでいます。そこには絵具を動かした跡がはっきりと残されています。顔も背景も、滑らかには仕上げていません。それでも、本人らしさが弱まることはありません。むしろ、その不規則さが生き生きとした印象を保っています。

作品情報の出典 · 作品を開く

05 / 20

The Chair Factory at Alfortville

Henri Rousseau

1897 · キャンバスに油彩 · Musée de l'Orangerie



The chair factory at Alfortville. WikiArt; Henri Rousseau. Proportional resizing and JPEG compression; source frame preserved. · Public domain

ルソーは椅子工場を、風景画のような整然とした静けさのなかに描いています。頭上で雲が膨らみ、柔らかく形を変える一方、低い建物はくっきりした輪郭を保ちます。枝分かれする道と小さな人物が、この工場の敷地に人間の尺度をもたらしています。

作品情報の出典 · 作品を開く

06 / 20

The Girl with a Doll

Henri Rousseau

1904〜1905年頃 · キャンバスに油彩 · Musée de l'Orangerie



Henri Rousseau. The girl with a doll. WikiArt source label: Public domain. Proportional resize and JPEG compression; no crop. Source: https://www.wikiart.org/en/henri-rousseau/the-girl-with-a-doll-1905 · Public domain (WikiArt source label)

子どもはこちらにまっすぐ顔を向け、人形もほとんどもう一人のモデルのように差し出されています。大きく描かれた頭と赤い服は、背後にある細い地面の帯や開けた空よりも強い存在感を持っています。ここには遊びの一瞬を思わせるものはありません。少女も人形も、同じようにまっすぐこちらを向き、同じように動きを止めています。この絵は、子どもの日常の一場面よりも、正式な肖像画に近いものです。

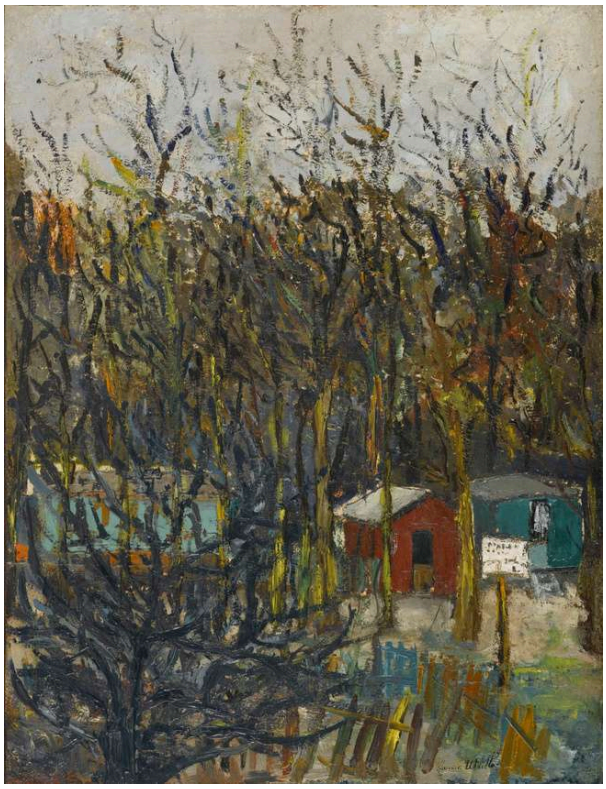
作品情報の出典 · 作品を開く

07 / 20

Butte Pinson

Maurice Utrillo

1905–1908 · Musée de l’Orangerie



Maurice Utrillo. Butte Pinson. Image credit: Maurice Utrillo. Wikimedia Commons. Public domain (https://creativecommons.org/publicdomain/mark/1.0/). Resized and JPEG-compressed; selected source frame preserved. · Public domain

家は探さなければ見つかりません。ユトリロは見る人と小さな建物の間に、葉を落とした枝の幕を置いています。その暗い網目が建物へまっすぐ向かう道筋を遮る一方、隙間からは淡い水面と空が見えています。

作品情報の出典 · 作品を開く · 所蔵品管理番号: RF 1963 104

08 / 20

Odalisque in Red Trousers

Henri Matisse

1924–1925 · Musée de l'Orangerie



Henri Matisse. Odalisque in red trousers. Image credit: JackyM59. Wikimedia Commons. Public domain (https://creativecommons.org/publicdomain/mark/1.0/). Resized and JPEG-compressed; selected source frame preserved. · Public domain

模様のある布が部屋を満たし、赤いズボンや、それを身につけて横たわる女性と目を引き合っています。淡いブラウスは、彼女を装飾から切り離すことなく、少し静かな部分をつくり出します。模様が奥行きの感覚を絶えず弱めるため、この絵は人物のいる部屋にも、隣り合う色面の集まりにも見えます。どちらの見方も、完全には優勢になりません。

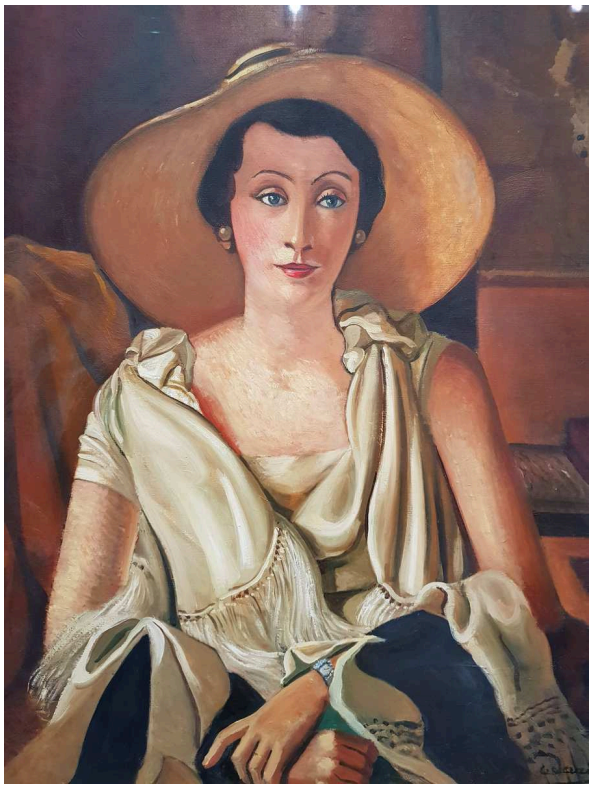
作品情報の出典 · 作品を開く · 所蔵品管理番号: RF 1963 66

09 / 20

Madame Guillaume in a Wide-Brimmed Hat

André Derain

1928–1929 · Musée de l’Orangerie



André Derain. Portrait of Madame Guillaume with pamela. Image credit: Philippe Cendron. Wikimedia Commons. Public domain (https://creativecommons.org/publicdomain/mark/1.0/). Resized and JPEG-compressed; selected source frame preserved. · Public domain

モディリアーニが描いた画商は、暗いスーツと、それ以外はごくわずかな要素で成り立っています。対照的に、ドランは衣服によってギヨーム夫人の肖像を組み立てています。幅広の帽子が構図の上部を閉じ、その下では手袋とひだを寄せた布が呼応します。この安定した配置のなかでも顔は個性を保っていますが、絵の重みと構造の多くを支えているのは、流行の装いです。

作品情報の出典 · 作品を開く · 所蔵品管理番号: RF 1960-36

10 / 20

Water Lilies: Sunset

Claude Monet

1914–1926 · Musée de l’Orangerie



Claude Monet. The Water Lilies - Setting Sun. Image credit: Claude Monet. Wikimedia Commons. Public domain (https://creativecommons.org/publicdomain/mark/1.0/). Resized and JPEG-compressed; selected source frame preserved. · Public domain

日没そのものは、どこにも見えません。暖かな反射としてだけ現れ、六メートルにわたって描かれた池に広がり、植物とともに水面を占めています。その広さは一か所から視界に収めきれる範囲を超えるため、パネルの長さに沿って見ていく必要があります。通常の意味での前景がないので、画面のどのあたりを見ているのかを知るうえで、色の移り変わりが大きな役割を果たしています。

作品情報の出典 · 作品を開く · 所蔵品管理番号: INV 20103

11 / 20

The Road from Montbuisson to Louveciennes

Alfred Sisley

1875 · Musée de l'Orangerie



Alfred Sisley. The Road from Montbuisson to Louveciennes. Image credit: Miguel Hermoso Cuesta. Wikimedia Commons. CC BY-SA 3.0 (https://creativecommons.org/licenses/by-sa/3.0). Resized and JPEG-compressed; selected source frame preserved. · CC BY-SA 3.0

この選集で最も早い時期の絵は、主題もひときわ素朴です。ありふれた道が、飾り立てることなく描かれています。淡い道は、開けた野原を埋め尽くさずに方向を与え、小さな歩行者たちが、道が奥へ遠ざかる様子を示します。広い空があるため、道だけが画面を支配することはありません。

作品情報の出典 · 作品を開く · 所蔵品管理番号: RF 1960-47

12 / 20

Water Lilies: Clear Morning with Willows

Claude Monet

1914–1926 · Musée de l’Orangerie



Claude Monet. The Water Lilies - Clear Morning with Willows. Image credit: Claude Monet. Wikimedia Commons. Public domain (https://creativecommons.org/publicdomain/mark/1.0/). Resized and JPEG-compressed; selected source frame preserved. · Public domain

地平線があると思われるあたりに柳の枝が垂れ、その垂れ下がる形が、独自のリズムで広い画面に繰り返されます。枝は淡い水面にも、自らの映り込みにも重なるため、木そのものとその像を見分けるには少し時間がかかります。

作品情報の出典 · 作品を開く · 所蔵品管理番号: INV 20106

13 / 20

Water Lilies: Green Reflections

Claude Monet

1914–1926 · Musée de l’Orangerie



Claude Monet. The Water Lilies - Green Reflections. Image credit: Claude Monet. Wikimedia Commons. Public domain (https://creativecommons.org/publicdomain/mark/1.0/). Resized and JPEG-compressed; selected source frame preserved. · Public domain

三点のパネルのうち、この作品は見る手がかりが最も少ないものです。岸は見えず、はっきりした地平線もなく、《睡蓮：柳のある晴れた朝》のように視界へ垂れ下がる枝もありません。あるのは水だけです。距離は、睡蓮の葉の集まりと、その間の明るい部分から判断しなければなりません。密な部分とまばらな部分を比べながら画面をたどることになりますが、奥行きへと導く一本の道筋はありません。

作品情報の出典 · 作品を開く · 所蔵品管理番号: INV 20102

14 / 20

Altar Boy

Chaim Soutine

1927 - 1928 · Musée de l’Orangerie



Chaim Soutine. Altar Boy. WikiArt source label: Public domain. Proportional resize and JPEG compression; no crop. Source: https://www.wikiart.org/en/chaim-soutine/altar-boy-1928 · Public domain (WikiArt source label)

この主題には、それ自体に秩序を期待させるものがあります。正式な役目を担う少年が、赤と白の祭服を着て、両手を合わせています。しかしスーティンは、布も、その下の身体も、左右対称に落ち着かせません。合わせた手がポーズをまとめる一方、ねじれる白い布の部分が、それを再び引き離しています。

作品情報の出典 · 作品を開く

15 / 20

Antonia

Amedeo Modigliani

日付未確認：1915年 · Musée de l’Orangerie



Amedeo Modigliani. Antonia. Image: WikiArt. Public domain (WikiArt label). Proportionally resized and JPEG compressed; no crop. · Public domain (WikiArt label)

1915年という制作年は未確認です。それが正しければ、《アントニア》は《ベルベットのリボンをつけた女性》や《ポール・ギヨーム》と同じ年の作品となり、明らかに前者に近い姿を見せています。同じように長い首と淡い顔があり、ここでは抑えた黒いドレスがその下を支えています。正面を向いて座るポーズは、最初は左右対称に見えますが、頭と肩のわずかな傾きが、その均衡を崩します。モディリアーニは室内の奥行きを浅く保っているため、こうした重心や角度の小さな変化から注意をそらすものはほとんどありません。

作品情報の出典 · 作品を開く

16 / 20

Deer

Marie Laurencin

1923 · Musée de l’Orangerie



Marie Laurencin. Deer. Image: WikiArt. Public domain (WikiArt label). Proportionally resized and JPEG compressed; no crop. · Public domain (WikiArt label)

題名に登場するのはシカだけですが、ローランサンは人物も同じように描いています。人と動物は、ともにピンクと白を交えた柔らかな青灰色で表され、曲線の輪郭は明確な区切りを設けずに重なり合っています。それぞれの形はなお見分けられますが、周囲からくっきりと独立するのではなく、隣り合う形のなかから浮かび上がっています。

作品情報の出典 · 作品を開く

17 / 20

Landscape with Figures

Chaim Soutine

1918 - 1919 · Musée de l’Orangerie



Chaim Soutine. Landscape with Figures. WikiArt source label: Public domain. Proportional resize and JPEG compression; no crop. Source: https://www.wikiart.org/en/chaim-soutine/landscape-with-figures-1919 · Public domain (WikiArt source label)

すべてが傾いています。道も家々も木々も眺め全体とともに傾き、堅固な建物さえ、今にも滑り出しそうに見えます。小さな人物が見慣れた尺度を与えますが、その周囲を安定させることはありません。シスレーのルヴシエンヌへ至る道も、道と小さな歩行者という似た要素で構成されていますが、そこでは何一つ傾いていません。

作品情報の出典 · 作品を開く

18 / 20

Yvonne and Christine Lerolle at the Piano

Pierre-Auguste Renoir

1897年頃 · Musée de l’Orangerie



Pierre-Auguste Renoir. Yvonne et Christine Lerolle au piano. WikiArt: Public domain. Proportional resize and JPEG compression; no crop. · Public domain (WikiArt per-object label)

イヴォンヌとクリスティーヌ・ルロールは音楽をともにしていますが、役割は異なります。一人が弾き、もう一人はすぐそばでその演奏を追っています。ルノワールは二人の頭と肩を、同じところに注意が向かう一つの領域にまとめています。ピアノの暗い塊が、二人の服の白と赤を結びつけながら、それぞれのポーズの違いも保っています。

作品情報の出典 · 作品を開く

19 / 20

Claude Renoir as a Clown

Pierre-Auguste Renoir

1909 · Musée de l’Orangerie



Pierre-Auguste Renoir. Claude Renoir en clown. WikiArt: Public domain. Proportional resize and JPEG compression; no crop. · Public domain (WikiArt per-object label)

道化の衣装は楽しませてくれることを期待させますが、この衣装のなかにいる子どもは、その期待に応えません。赤い衣装がクロード・ルノワールのシルエットを大きくしています。それでも、小さな靴とまっすぐな脚によって、芝居がかった形の下にある身体ははっきりとわかり、顔は真剣なままです。

作品情報の出典 · 作品を開く

20 / 20

Nude Woman in a Landscape

Pierre-Auguste Renoir

1883 · Musée de l'Orangerie



Pierre-Auguste Renoir. Femme nue dans un paysage. WikiArt: Public domain. Proportional resize and JPEG compression; no crop. · Public domain (WikiArt per-object label)

ルノワールは座る女性の輪郭を、あるところでは際立たせ、別のところでは葉の茂みへ柔らかく溶け込ませています。それでも身体の重みと構造は失われません。暖かな肌と、それより冷たい色の草木は、共通する丸みのある形を通して接しています。後ろを振り返る動きが、彼女を風景から切り離すのではなく、風景全体の色の配置へと結びつけています。

作品情報の出典 · 作品を開く

画面で見る大きさ

画面上では、モネの横長の《睡蓮》のパネルと、モディリアーニが厚紙に描いたポール・ギヨームの肖像が、同じ幅で表示されることがあります。大きさを知るには、記録された寸法のほうが確かな手がかりになります。とりわけパネルでは重要です。その大きさ自体が、作品の意味の大きな部分を担っているからです。

関連書籍

Impressionism: A Centenary Exhibition

Anne Dayez, Michel Hoog and Charles S. Moffett · オンラインで読む、またはダウンロード · 英語

オンラインで読むこともダウンロードすることもできる、このメトロポリタン美術館の出版物は、モネ、ルノワール、シスレーについて、主に初期の作品の背景を解説しています。この選集の印象派にある源流、とりわけシスレーの道を理解するのに適しています。二十世紀の作品を知るうえでの助けは比較的少なく、そこにはモネ自身の《睡蓮》も含まれます。

博物館のウェブサイト · 公式コレクションガイド

情報源と訪問者情報は確認済みです。: 2026-10-12

AI翻訳を使用

Artline · オランジュリー美術館：名作